

だい かい しょうわ みらい かいぎ 第6回「昭和未来会議」のまとめ

1. がいよう 概要

へいせい ねん がつ か ちりゆうだんち しょうわろうじんいこい いえ だい かいしょうわみらいかいぎ かいさい
平成28年11月5日、知立団地「昭和老人憩の家」にて、第6回昭和未来会議を開催しました。
こんかい めい かつ きんか
今回も 19名の方にご参加いただき、「『やりたいコト』の中から、『まずできるコト』をはじめよ
う！」をテーマに話しあいました。

2. まとめ

こんかい だい かい ひ つづ かわ かいだい たい ぐたいてき
今回は第5回に引き続き、テーマごとのグループに分かれ、課題に対して具体的にどんなこと
ができるか、やりたいかについて、これまで出された意見の追加や整理を行い、まず取り組んで
みることに話し合いました。これまでの話し合いをふまえて、地域主体で「まず取り組ん
でみることを決めていく難しさに直面しながらも、昭和地区の未来に向けた話し合いが続いて
います。

かく グループの意見を集約すると、以下のようにになりました。

グループ①『交流促進①～イベント等で交流の機会を！～』

◆各地域のイベントや取組に参加しあう

いつ	<input type="checkbox"/> 11/27(日)3丁目2号公園 イモ煮会 <input type="checkbox"/> 食材持参？ <input type="checkbox"/> 春に花見ができれば <input type="checkbox"/> 1月餅つき？ <input type="checkbox"/> 4丁目 7月花火
だれと	<input type="checkbox"/> 団地内外の人が、一緒に考えてやる
なにをどうやって	<input type="checkbox"/> 招待状でイベント等実施することを知らせる <input type="checkbox"/> 3丁目、4丁目、5丁目が順番に組んでもらえればどうか <input type="checkbox"/> 各地域の取り組みを知る！ <input type="checkbox"/> 4丁目は若い人が多い
活動の目的	<input type="checkbox"/> 目的を一つ決めてやる <input type="checkbox"/> 共同主催
その他	<input type="checkbox"/> 昭和区長会が今後できれば <input type="checkbox"/> 集まる場所がない？ <input type="checkbox"/> 運動会合同チーム。一緒に汗を流す

～補足～

- ・ 新しいイベントをはじめることは難しい。
- ・ 昭和地区のイベントの情報を共有できるようにして、それぞれのイベントについて理解を深めたり、相乗効果につなげたりしていくということも、価値があるのではないか。

グループ②『交流促進②～交流の場づくり～』

◆※「◎」「★、☆」は11/5分の新規ご意見です

いつ	○11/12 フェスタ de パルケ 伊東さん
どこで	◎前に進むためにプログラムを絞る→まず子ども（★）と高齢者（☆） ◎新規の取組みは難しいので、今あるものから広げていく ◎趣味の既存のもの
だれと	★“みらい”の活動ともつながりを ★フェスタ de パルケを月1回、交流の場に（いずれ） ★東小：せせらぎの会のように子どもを切り口にするなど複数分野で ★東小、パイプ役の先生が頑張っている方がいる！ ☆グランドゴルフ：週2回、外国の方は参加していないが見ている方がいる。←まず入れてあげては？ ☆ブラジルでもやっている地域があり経験者がいるかもしれない ☆ラジオ体操（岡村さん）：ソフトの監督 ◎畑は？しぼりは？制約は？ ◎畑：外国の方とガーデン事業 ◎県事業への申請は外国の方のキーマンが必要 ◎未来Jr.のお母さんも借りたいと○コマ回しできる方求む！！ ○東小の子ども（八ツ田も？） ○まちづくり委員会で（昭和は伊東さんがメンバーの一人） ○親も来てもらってもOK（ケガの時など）
なにを・どうやって	○フェスタ de パルケ ・たくさん子ども来そうなので子どもの安全のため見てくれる方 ・もやいこでもチラシを配れないか？ ・昭和未来会議でもPR！！キャッチには取りあげてもらおう！
活動の目的	○フェスタ de パルケ ・うまくいったら継続⇒地域でやりたい方に引き継いでいきたい！！

～補足～

- ・フェスタ de パルケは自治会の文化祭と日程が重なったので、相互にプラスになるように参加者に文化祭にも行ってください！等の声掛けを行っていく。
- ・次回、子ども、高齢者（グランドゴルフ等）、外国人との菜園等を中心に議論を進めていければ。
- ・既存の活動から考える等、スタートしやすい工夫も必要。

グループ③『支援が必要な方に対してできること』

◆認知症について学ぶ

どこで	<p>○老人憩いの家</p> <p>○ほほえみの里</p> <p>○知立団地集会所</p>
だれと	<p>○地域の人々</p> <p>○未来会議参加者</p>
なにを・どうやって	<p>○認知症勉強会</p> <p>○認知症サポーター養成講座</p>
活動の目的	<p>○講座を聞くだけでなく、地域で話し合うことが大事</p> <p>○地域の人を知り合う場、顔を合わせる場にもなれば</p> <p>○認知症に限らず、色々な関心ごとについて勉強できる場づくり</p> <p>○支援等に取り組んでいる人たちの情報共有の場</p>
その他	<p>○11/27 3丁目イモ煮会</p> <p>○老人クラブが3つある</p> <p>○回覧も老人クラブごとで回る。見守りになっている。</p> <p>○ほほえみの里で認知症講座ある？</p> <p>○3丁目は祭をやることで情報が共有されることになった</p> <p>○老人クラブの横のつながりも必要</p> <p>○ブラジルでは日系人会館の管理等を中心に自治会のようなコミュニティが作られている</p> <p>○近所にいる認知症の方に積極的に声掛けしたりするよう、子どもにも言っている</p>

～補足～

- ・まずはやってみることが肝心。すぐにでもできると思うので、次回、日程・場所を具体的に決めていく。
- ・認知症のことを地域の外国の方にも知ってもらうことや、多くの住民が理解を深めることが重要なので、広く参加してもらえるような工夫をする。